



# 令和3年度 8月人権一口講座



## 人権一口講座

### 「防げることが出来る事故」

6月下旬、またしても痛ましい事故が千葉県八街市で起きました。集団下校中の児童の列に飲酒運転の大型トラックが突っ込み死傷者ができました。かけがえのない幼い命が一瞬にして奪われたのです。

警察庁の統計によると、飲酒運転による交通事故は、平成十四年以降に大幅に減少したものの、平成二十年以降は減少幅が縮小し、下げ止まり傾向にあるとのことです。令和二年においては、全国で年間約28万9千件もの飲酒運転による事故が発生しています。なんと飲酒運転による死亡事故率は、飲酒なしの場合と比較すると、約8倍にもなるそうです。

飲酒による事故、不注意での事故など、そのどちらにしても一度事故を起こしてしまえば、もう取り返しがつきません。被害者をはじめその家族、加害者の家族など、多くの人が辛く悲しい思いをすることになります。

ですが、飲酒運転は未然に防ぐことができます。本人や周囲の人の力で、防止することができます。先に記した警察庁の統計では、熊本県は全国で5番目に人口に対して飲酒運転による事故が多い県であるという結果も出ています。多くの皆さんが飲酒運転による事故を他人事と捉えずに自分事として「飲酒をしたら運転はしない、させない」という自覚や責任を強く持ち備えて欲しいと思うのです。

「飲酒運転を減らすならば、命に係わる重大な事故を減らすことが出来る」そんな世の中になればと考えます。そして、いつか飲酒運転に係わる統計が必要ない世の中になければならないと思いました。

〔熊本市ふれあい文化センター広報紙「かけはし」令和3年度8月号より〕

## 短いメッセージ

感謝をすると 笑顔が返ってくる  
なんてステキな 交換だろう

熊本市・熊本市教育委員会・熊本市人権啓発市民協議会 人権カレンダー- 城南中学校1年 菊池里緒さん (2020年度の作品より)